

平成27年度  
事業計画書

横浜市飯島コミュニティハウス

特定非営利活動法人  
さかえ区民活動支援協会



(1) 運営団体に関すること

ア 運営団体の概要

イ 経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

ウ 運営団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

(1) 運営団体に関すること

ア 運営団体の概要

イ 経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

ウ 団体が行った公運営の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 運営団体の概要

特定非営利活動法人さかえ区民活動支援協会（平成21年9月設立）は、地域のコミュニティ、文化・スポーツ活動の拠点として、地区センターやコミュニティハウス・子どもログハウスなどの管理運営を行い、地域の様々な活動を支援してきました。地区センターやコミュニティハウスで実施する自主講座などから新たなグループが数多く誕生しており、生きがいづくりや環境保全などの課題に主体的に取り組んだり地域の歴史を学び郷土愛を育む契機にするなど様々な活動が行われています。

イ 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

〈経営方針〉

- ① 地域住民のだれもが気軽に利用することができる施設、「また、利用したくなる施設」を目指します。
- ② 区民の自主的な活動の支援を通して、地域住民の相互交流を深めるなど、地域コミュニティの醸成を図ります。
- ③ 区民ニーズに応え、公共的かつ公平性を担保するとともに、利用者サービスの向上に努めます。
- ④ 行政サービス等への積極的な協力体制を図ります。
- ⑤ 施設管理・会計経理等を当支援協会が一体的に行うことで、経費を節減すると共に、管理費の縮減を図ります。

〈業務概要〉

本郷地区センター・豊田地区センター・上郷地区センターのほかコミュニティハウス（4）・老人福祉センター翠風荘・横浜市桂山公園子どもログハウスの9施設の一体的な管理運営を行っています。

平成25年度には約45万人の利用がありました。

また、横浜市栄公会堂・スポーツセンターを公益社団法人横浜市体育協会と共同で運営管理を行っています。

〈主要業務〉

- ① 施設の管理運営
- ② 自主事業などの実施による区民の活動支援・生涯学習活動の支援・地域交流の推進

ウ 運営団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

- ① 3地区センター利用者数 28万468人（平成25年度実績）  
稼働率 59・7%（横浜市平均52・4%）18区中4位
- ② 運営管理している施設の総数9施設

現在管理運営している主な施設名	所在都道府県市区名	業務開始年月	業務区分
横浜市本郷地区センター	横浜市栄区桂町 301	平成7年4月1日	施設の管理運営
横浜市豊田地区センター	横浜市栄区飯島町 1368-1	平成7年4月1日	
横浜市上郷地区センター	横浜市栄区上郷町 1173-5	平成18年5月1日	
上郷矢沢コミュニティハウス	横浜市栄区桂台南 2-34-2	平成25年3月11日	
本郷小学校コミュニティハウス	横浜市栄区中野町 16-1	平成7年4月1日	
庄戸中学校コミュニティハウス	横浜市栄区庄戸 3-1-1	平成9年4月19日	
横浜市飯島コミュニティハウス	横浜市栄区飯島町 1863-5	平成19年5月1日	
老人福祉センター横浜市翠風荘	横浜市栄区野七里 2-21-1	平成18年4月1日	
横浜市桂山公園子どもログハウス	横浜市栄区桂台中 16-1	平成7年4月1日	

## (2) 施設の運営計画

### ア 設置理念を実現する運営内容

#### イ 利用促進策

### ア 設置理念を実現する運営内容

\* 区民の自主的な活動を支援し、相互交流の活性化を支援します。

地域のなかの身近な施設として利用者、町内会・自治会・関係団体と「顔の見える関係」を維持しながら今後も運営してまいります。これを基盤として、区民の相互交流・地域交流を一層活性化するため「自主事業」に取り組むとともに利用者が施設を活用して、区の基本目標である「みんなが主役の元気なまちづくり」に寄与します。

\* 新旧住民が交流し、子どもから高齢者までの幅広い年代層が交流できる施設運営を目指します。

自主事業参加者がサークルを結成し、自立した活動に移行できるよう利用団体の育成・支援を引き続き行うことにより、地域コミュニティの醸成や世代間交流の促進を図り、「みんなが主役の元気なまちづくり」を目指します。

#### イ 利用促進策

\* 利用者満足度の向上

子どもを含むすべての利用者に「笑顔であいさつ」を実行し、利用者の立場に立った親切な窓口対応を実践するとともに、快適で清潔な施設環境の維持に努めていきます。

委員会や利用しているサークルを始めとする幅広い利用者の意見を参考に、利用者ニーズを反映した取り組みを進め、利用者満足度の向上へつなげていきます。

\* 子ども・子育て世代と高齢者に配慮した自主事業の取組

飯島コミュニティハウスの利用者の半数以上を、幼児、小学生や中学生までの子どもたちが占めています。放課後ともなると、飯島コミュニティハウスのロビーやキッズコーナーで遊ぶ子どもたちで賑わっています。近隣の小学校の2年生が生活科の授業の「町のたんけん」のなかで訪問見学を受け入れ、子どもも保護者も地域のなかの「安全で安心して友達と遊べる場」としての認識が深まり、いままで来たことのない子どもたちが新しい利用者となるとともに利用経験のある子どもが利用方法を教え、常連やリピーターが着実に増えています。

また、オセロやトランプやウノなどのゲーム、ジグソーパズルなどの遊具に加えて、大型の動物ブロックや動物将棋やぬいぐるみの動物のボーリングなど新しい遊具を購入し、子どもや幼児連れの子育て世代のニーズに柔軟に対応します。

地元の里山から集めてきたどんぐりや松ぼっくり、竹など身近にある材料を使って、地域の先生が趣味の上手な特技を活かした竹とんぼ竹笛づくりや木の実を使って自由な創作、季節にちなんだクリスマスかざりや人形、門松など正月飾りなど子どもから高齢者まで人気の高い「ものづくり」教室を通した世代間交流事業を継続的に企画し、地域の大人がさりげなく子供たちに気軽に声をかけることのできる地域づくりに寄与していきます。

利用者の高齢化の進展にともない、坂の上にある飯島コミュニティハウスに来るのがだんだん億劫になり、いつの間にか足が遠のき、家に閉じこもりがちになる高齢者の方が増えてきています。

高齢者が加齢にもなって支援や介護が必要となる大きな原因のひとつに転倒・骨折があります。いつまでの元気にコミュニティハウスを利用していただくためにも、仲間と楽しみながら介護予防や転倒予防に効果のある運動を行う取り組みを始めます。栄区の高齢化率が横浜市の中なかで最も高いにもかかわらず介護・支援を必要とする高齢者の割合が最も低いという「高齢社会の明るい希望」を持ち続けていくために、介護予防の活動に力を注いでいきます。

\* 利用しやすい施設への見直し・改善

集会室をより多くの方に利用していただけるよう、実際の利用時間や利用人数の利用実態を踏まえ、60分から90分程度の短時間利用を促進して空き時間を捻出するとともに「お互い様」と必要十分な広さに抑制しつつ、集会室の割愛や部屋割りを工夫して「お互い様」と同時利用できるようきめ細かな利用調整を実行します。

\* 運営目標

利用者数 25,900人 (平成25年度実績 25,643×1.01%)

稼働率 70.7% (平成25年度実績 70.0%×1.01%)

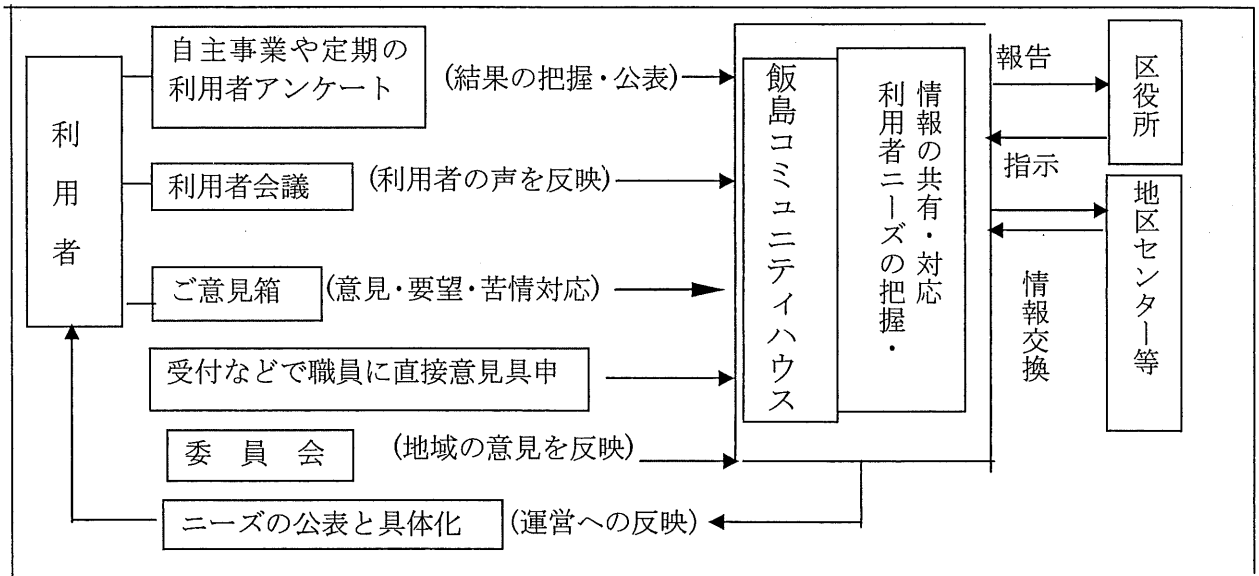
## (2) 施設の運営計画

ウ 利用者ニーズの把握と運営への反映

エ 利用者サービス向上の取組

### ウ 利用者ニーズの把握と運営への反映

\*あらゆる機会を捉えてニーズを把握し、検討して運営に反映・実現させていきます。(下図の通り)



### 利用者サービス向上の取組

\*館長が中心となって、常に窓口で適切な対応ができるような指導體制をとります。

職員は受付カウンターで利用者からの声に親切に対応できるようにします。

\*利用者の相談内容によっては、他の区民利用施設や区民活動センター「ぷらっと栄」を紹介するなど、できる限り利用者の意向に沿う助言をするよう努めます。

\*地域住民の自主的活動を支援するため、自主事業への参加を促進するとともに、専門的知識や支援協会が運営する9施設の密接な情報網を活かして、自主活動グループづくりの相談・情報提供も積極的に行います。

\*情報提供・広報の場として、広報よこはま「さかえ区版」や区・当コミュニティハウスホームページ、隔月区全戸回覧される区民活動センターの情報紙「ぷらっと通信」、ケーブルテレビ「JCN よこはま」や地域情報誌「タウンニュース」「はまかぜ」などを活用して、施設利用案内や自主事業等の情報を提供し、利用者が参加の機会を得やすいよう配慮します。

\*施設や備品についても利用者が快適に利用できるよう整備・保管に努めます。

小破修繕等は可能な限り速やかに職員による直営作業で対応し、経費節減と併せて利用者の利便性を高めます。

### (3) 自主事業計画

#### 【自主事業の考え方】

コミュニティハウスは、地域の方が生涯学習や地域活動など幅広く利用できる施設です。コミュニティハウスでは地域の子どもから高齢の方々までが、運動や遊び、サークル、趣味活動やレクリエーションなどの活動を自主的に行い、相互交流を深めるなど、地域コミュニティの形成・促進を支援することを目的としています。自主事業はこの目的に沿うように計画します。

#### 【自主事業の計画立案にあたって】

計画立案にあたっては、委員会での意見や現在活動しているサークル等の意見を取り入れるなどして、地域のニーズを十分把握して実施します。また、参加者からの要望を把握したり、「利用者の声」箱を利用したりして、幅広く利用者の要望をつかんで自主事業に反映させます。併せて、地元採用というスタッフの人脈を生かして、地域に講師を求め発掘するというニーズ把握力・事業企画力を高めて目的が遂行できる事業を展開していきます。

#### 【特徴や独自性】

\*地域の里山で集めてきた木の実や枝を利用した創作や竹などを使った竹トンボや竹笛やクリスマスや正月の飾りなど季節にちなんだ作品づくりなど人気の高かった「ものづくり」教室を中心に多世代が一緒にものを作ることを通して世代間交流が巧まずに実現できる事業を展開し、更なる地域コミュニティ、団体、グループ等の形成を図り、地域交流の推進・充実に寄与します。

\*飯島コミュニティハウスは少子高齢化の進展するなか、子どもと地域住民とのふれあう機会を多くするため、子どもの居場所づくりを通して世代間交流の促進に努めています。

少子高齢化の進展する栄区になかで、この地域は、大船と戸塚へのアクセスが比較的よいことから戸建て住宅地における高齢者世帯が増加する一方で大規模な集合住宅やアパートの核家族世帯が持続的に転入し、少子化のスピードは他の地域に比べると比較的緩やかです。

地域のなかで子どもたちの遊び場が少なくなっているなかで、貴重な「安心で安全な居場所」としてかけがえのない場所となっています。集会室のなかでは高齢者の介護予防の健康体操から、子ども連れのフラダンス、中学生・高校生のダンス練習、小学生のそろばん教室、英語教室、楽器練習、親子で参加する乳幼児のリトミックまで各年代の利用者層と多様な利用形態が見られます。ロビーやキッズコーナーでは、子どもがゲームに興じたり、大型積木で遊んだり、わいわいがやがやとにぎやかです。乳幼児連れの親子、子どもから高齢者まで老若男女、各世代が交錯する空間が現出しています。地域コミュニティの醸成を図る観点から、普段は接する機会の少ない高齢者と子どもたちが一緒に「ものづくり」をすることを通して、世代間の交流がおのずと実現できる企画を展開し、外で出会った時に挨拶や声をかける関係が広がっていきます。

\*坂の上に立地する飯島コミュニティハウスは高齢者の方にとっては足弱になるにつれて、足が遠くなりがちです。今まで利用していた高齢者の方がこれからも利用しつづけることができるよう、転倒予防・介護予防の効果のある運動の普及に取り組んでいきます。

#### 【実現性】

\*集会室の利用率が7割を超えるなかで、定例的な利用団体の活動に支障のないように、空いている時期・時間帯を調整しながら実施していきます。

これまでの経験を生かし、人気の高い事業、実現性の高いものを企画していきます。広報にも力を入れ、豊田、小菅ヶ谷、笠間の3連合地区の町内会・自治会の掲示板にポスターを掲示するとともに、当センターHPや隔月全戸回覧される区民活動支援センターの情報紙「ぷらっと通信」や「タウンニュース」「ケーブルテレビ」を十分活用して周知に努めます。







# 自主事業別計画書【平成27年度】

(様式4)

施設名 飯島コミュニティハウス

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ものづくり教室	地域の里山で身近にあるどんぐりや松ぼっくりなどの木の実や竹、木の枝などを材料に自由に創作を行う	
	・どんぐり・木の実クラフト	8月 2回
	・クリスマスの人形をつくろう	12月 1回
	・正月の飾りづくり	12月 1回
	・おひな様の人形をつくろう	2月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しむ にこにこおはなし会	地域の特性に応じた読書環境の整備を推進するため、3歳くらいまでの子どもとその保護者に本に親しむ機会を提供します。 ・3歳くらいまでの子どもとその保護者を対象に絵本やものがたりの読み聞かせを行う。	毎月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防教室	高齢化の進展にともなう虚弱高齢者の増加を抑制するため、介護予防の効果のある運動を行う。  ・虚弱から要支援の予備軍の高齢者を対象に介護予防運動を行うとともに新たな仲間づくりを行う。	年間 10回



事業名	目的・内容	実施時期・回数
転倒予防教室	加齢にともない、足が弱くなり、今まで利用していたコミュニティハウスの坂がきつく感じられ、足が遠のいて、閉じこもりになりがちになることを予防するため、転倒予防に効果のある運動を行う  ・無理なく仲間と楽しく転倒予防の筋力トレーニングを行う	年間 10回



(様式4)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子で楽しむ	季節にあわせて未就学児の親子や小学生がふるさとの言い伝えなどを紙芝居に仕立てたオリジナル作品をとおして楽しく親しむ	
かみしばい	地元のボランティアによるわが住む街にちなんだ手づくりの紙芝居を季節にあわせて年間4回行う	年間 4回

平成27年度

# 収 支 予 算 書

横浜市飯島コミュニティハウス

特定非営利活動法人  
さかえ区民活動支援協会

(様式10)  
平成27年度

飯島コミュニティハウス収支予算書

収入の部

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	12,591,000				0	横浜市より
利用料金収入	0					
自主事業収入	10,000				0	自主事業参加費
雑入	184,000	0	0	0	0	
印刷代	82,000				0	印刷、コピー代
自動販売機手数料	102,000				0	売上手数料
その他( )	0				0	
その他( )	0				0	
その他( )	0				0	
<b>収入合計</b>	<b>12,785,000</b>			<b>0</b>	<b>0</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	6,889,000	0	0	0	0	
給与・賃金	6,172,000				0	職員給与、スタッフ賃金
社会保険料	527,000				0	社保、労保
通勤手当	160,000				0	
健康診断費	24,000				0	
勤労者福祉共済掛金	6,000				0	ハマふれんど掛金
事務費	939,000	0	0	0	0	
旅費	10,000				0	出張交通費
消耗品費	470,000				0	トイレーパーパー等
会議賄費	10,000				0	お茶代
印刷製本費	10,000				0	封筒、申込書類
通信費	185,000				0	電話料等
使用料及び賃借料	0				0	
備品購入費	154,000				0	
図書購入費	20,000				0	利用者用図書
施設賠償責任保険	10,000				0	年間保険料
職員等研修費	10,000				0	
振込手数料	10,000				0	
リース料	0				0	
手数料	20,000				0	印刷機、コピー機
その他	30,000				0	ホームページ更新料等
	0				0	慶弔費等
事業費	319,000	0	0	0	0	
自主事業費	319,000				0	
	0				0	
管理費	3,791,000	0	0	0	0	
光熱水費	915,000	0	0	0	0	
電気料金	771,000				0	
ガス料金	0				0	
水道料金	144,000				0	
清掃費	567,000				0	
修繕費	427,000				0	
機械警備費	531,000				0	
設備保全費	1,351,000	0	0	0	0	
空調衛生設備保守	475,000				0	
消防設備保守	119,000				0	
電気設備保守	298,000				0	
害虫駆除清掃保守	53,000				0	
その他保全費	406,000				0	
共益費	0				0	
公租公課	350,000				0	
事務経費	497,000				0	
ニーズ対応費	0				0	
<b>支出合計</b>	<b>12,785,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

差引	0	0	0	0	0	
----	---	---	---	---	---	--